

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成22年1月20日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0170503874		
法人名	株式会社 アクティブ・ケア		
事業所名	グループホーム みのり中の島		
所在地	札幌市豊平区中の島1条3丁目7番3号 (電話) 011-813-1294		
評価機関名	株式会社 サンシャイン		
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F		
訪問調査日	平成22年1月14日	評価確定日	平成22年1月29日

【情報提供票より】(平成21年11月16日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)18年3月20日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	16人	常勤	16人、非常勤 0人、常勤換算 4.7人

## (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3階建ての	2~3	階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000円	その他の経費(月額)	水道光熱費:20,000円 暖房費:10,000円(11-3月)	
敷金	有(円)		無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	1日当たり	1,400円		

## (4) 利用者の概要(1月14日現在)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名
要介護1	7名	要介護2	3名		
要介護3	2名	要介護4	6名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 86歳	最低	77歳	最高	93歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人よつばクリニック・医療法人札幌中央病院・星川歯科医院
---------	--------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「グループホームみのり中の島」は、地下鉄中の島駅から徒歩5分程の交通の便がよい環境に位置している。管理者は利用者に対する継続性のあるケアを重視し、法人と共に社員教育や研修の充実を図り質の高いケアを日々行っている。職員は人間関係や待遇面においても満足度が高く、職員同士の信頼関係も深められており、離職も少なく定着した職員で安定したケアが行われている。また開設当初から積極的に地域活動に参加する事により、現在は地域との繋がりも深められ、町内会との合同「昼食会」にはたくさんの人が参加して盛大に行われ、利用者や地域住民との活発な交流が行われている。利用者は、理念にあるようにおだやかな心で笑顔あふれるあたたかい暮らしを送っている。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回の取り組み項目は全職員で話し合い、項目毎に計画を立てて積極的に取り組んでいる。自己評価はスタッフミーティングにおいて理解を深め、個別便りは半年毎に発行している。夜間想定避難訓練を行うと共に、運営推進会議で地域との協力体制について話し合い、日中想定訓練には町内会役員も参加している。献立の栄養チェックは法人の管理栄養士が行っている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 全職員が項目毎に分担して自己評価を記入したものをホーム長、主任がまとめ上げて作成している。また、作成後は会議で再確認を行うなど積極的に取り組んでいる。職員は自己評価を行う事で日々のケアを確認し、改めてケアについて真剣に考える機会になったと感じている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議には、利用者も順番に全員が参加して2ヶ月毎に開催している。参加する家族は限られているが、全家族には議事録を送付して会議内容を報告している。事業所からの報告や外部評価、避難訓練などを議題として取り上げ、「昼食会」についても町内会の方から提案されるなど、有意義な会議となっている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族が来訪した時に意見をもらう事で勉強させて頂くという姿勢で対応しており、家族から色々な意見を言ってもらうなど信頼関係も深められている。家族からの話は連絡帳に記録して職員間で意見を交換するなど、全職員で把握して適切な対応ができるように工夫している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会に加入し、清掃活動や街路の花植えに参加している。昨年は、町内会の積丹方面の日帰り旅行に数人の利用者が参加して交流を楽しんでいる。夏祭りは町内会と合同でバーベキューの「昼食会」を開催し、地域の高齢者や近隣住民、家族など80名程の参加があり、地域住民との交流が深められている。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「おだやかな心で、その人らしい毎日を安心して過ごせる生活環境を守り育むよう努めます。地域にとけこみ、いつまでも笑顔あふれるあたたかい暮らしを送って頂けるよう努めます。」と、開設当初の理念を分かりやすい言葉に変えた独自の理念を作成している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はパンフレットに掲載し、玄関やスタッフルームに掲示している。月曜日の申し送り時に理念を唱和すると共に、福祉三原則や経営理念、事業所独自の基本方針も唱和する事で職員間で共有して実践に向けて取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、清掃活動や街路の花植えに参加している。昨年は、町内会の積丹方面の日帰り旅行に数人の利用者が参加して交流を楽しんでいる。夏祭りは町内会と合同でバーベキューの「昼食会」を開催し、地域の高齢者や近隣住民、家族など80名程の参加があり、地域住民との交流が深められている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が項目毎に分担して自己評価を記入したものをホーム長、主任がまとめ上げて作成している。また、作成後は会議で再確認を行うなど積極的に取り組んでいる。職員は自己評価を行う事で日々のケアを確認し、改めてケアについて真剣に考える機会になったと感じている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議には、利用者も順番に全員が参加して2ヶ月毎に開催している。参加する家族は限られているが、全家族には議事録を送付して会議内容を報告している。事業所からの報告や外部評価、避難訓練などを議題として取り上げ、「昼食会」についても町内会の方から提案されるなど、有意義な会議となっている。</p>		<p>限られた家族の参加が多くなっているため、今後は全家族に運営推進会議の開催を連絡する事で、より多くの家族の参加が得られるように期待したい。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>利用者の出身区に合わせてそれぞれの区役所にホーム長が訪問し、事務的な連絡相談、おむつサービス制度、利用者の退去時の高齢者住宅相談などを行っている。地域包括支援センター職員が「昼食会」にも参加するなどお互いに行き来する機会が得られている。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>「みのり通信」を発行して全体の様子を毎月写真などで報告し、半年毎に個別通信を発行して写真とコメントでそれぞれの利用者の様子を報告している。利用者の健康状態などは家族の来訪時や電話で随時報告している。金銭管理の報告は毎月郵送で行い、職員の異動は来訪時や通信で報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族が来訪した時に意見をもらう事で勉強させて頂くという姿勢で対応しており、家族から色々な意見を言ってもらうなど信頼関係も深められている。家族からの話は連絡帳に記録して職員間で意見を交換するなど、全職員で把握して適切な対応ができるように工夫している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>去年は新しい事業所の開設で法人内で2名の異動があったが離職者はいない。利用者は「栄転だね」などと言って職員を送り出し、残った職員も利用者の気持ちに配慮して、異動した職員に伝言がないかを聞いたりしてダメージを和らげるように工夫している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修はホーム長が行うと共に、法人としての年間計画を立てて計画的に職員育成が行われている。法人内に研修委員会を設置して、外部から講師を招いて研修を行うほか、外部研修にもそれぞれの職員が積極的に参加して、お互いに刺激し合いながらケアの向上に努めている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	「グループホーム管理者会議」が主催する研修会に職員が参加して、同業者との交流が行われている。ユニット間で職員を交換して、お互いのケアを学び合う機会を作っている。法人内のグループホーム間で職員を数日間交換して研修を行う話があるが、まだ実施はされていない。		法人内のグループホーム間で職員の相互交換研修を行い、質の向上を図っていききたい意向なので、その取り組みを期待したい。
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	空室がある時や利用開始する前に、本人や家族に見学に来てもらい短時間過ごしてもらうようにしている。利用開始後は他の利用者との仲立ちをして徐々に雰囲気馴染めるように配慮したり、本人の楽しみが継続できるような工夫をしている。ゆっくりと時間をかけて話す時は、他の利用者に配慮して居室を利用している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者から台所仕事や生活の知恵を学ぶなど、常にお互いの知識と知恵を出し合い助け合って日々の生活を共にしている。体調を気遣ってもらったり、帰りがけに「また来てね」と温かい言葉をかけてもらう事で、精神的にも支えられていると感じている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の会話や表情、行動などから本人の思いや希望を把握するように努めている。言葉での表現が難しい利用者には、いろいろな働きかけをする事でその時の反応や表情から意向を把握するように努めている。毎月の会議で一人ひとりの日々の状態を検討して、本人の意向を把握し介護計画に反映させている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居して最初の計画は面談で聞いた家族と本人の意向を踏まえて短期の計画とし、約1ヶ月経過を見た後ミーティングで話し合って担当職員が案をまとめ、計画作成担当者が確認し、家族の承認を得た上で正規の介護計画とする。以後同様の手順で家族と本人の意向を取り入れながら職員が話し合い、担当職員が中心になって計画作成担当者の適宜の指導を得ながら計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月毎の見直しを基本としている。利用者の状況の変化を注意深く観察しながら、介護保険認定の更新時、入退院の時など必要に応じて随時計画の見直しを行っている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>通院介助は原則家族が行う事になっているが、状況に応じて職員が同行、送迎する。家族の希望により居室での家族宿泊に応じる、併設のデイサービスと共同で行事を行うなど、事業所の特性を活かした多機能の柔軟な支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>提携医療機関の訪問診療を月2回行っている。その他の診療科および本人家族の希望する医療機関については、受診に当たって服薬状況、健康状態など必要な情報を家族を通じて提供し、診療結果は確認している。病状の重い時などは必要に応じて職員が同行し、情報交換を密にしている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末期および看取りの指針を詳細な文書で作成し、入居の際に利用者、家族の同意書を得ている。状況に応じて医師、看護師を交えて話し合い、方針を共有しながら事態に備えている。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重し、排泄誘導、失禁処置などはあからさまにならないよう、また言葉かけは上からの目線にならないよう、厳重に注意している。個人記録の作業中は広げたままにしないよう、また書類はドア付きの見えないところに保管するなどの配慮をしている。面会簿は個別にして他者への露出を避けている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>起床や朝食の時間はまちまちであるなど本人の希望や生活ペースに合わせた支援をしている。買い物、その他の外出、喫茶店へ行くなどの個々人の要望にその都度応じている。また、茶道、文書の筆耕など、本人の好きな事、得意な事の力が発揮できるような場面作りに努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は、利用者の日ごろの会話に出た希望や食べた後の感想などを参考にしながら、職員が交代で立てている。誕生日には当人の好物を献立する。希望に応じて回転寿司などの外食に出かける事もある。食材の下ごしらえ、配膳、下膳、食器洗いなどに参加する事で食事が楽しみなものになるよう工夫している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週に6日ないし5日を入浴日とし、主に午後の時間帯に入浴している。希望により、見守りで済む場合は午前中に入る事もある。各人、週に2回以上入るように計らっている。強い入浴拒否の人はおらず、ほとんど皆気持ちよく入浴している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ベランダの花の水遣り、縫い物、炊事、家事などの役割を分担して生活に張り合いを持たせ、ビデオ鑑賞、お茶立て、書道、おやつ作りなどを楽しんでいる。また季節ごとに紅葉狩りや動物園見物、買い物などの外出行事で楽しんでいる。		
25	61	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	気候のよい時期は天候の許す限り毎日のように散歩などの外出をしている。外出を好まない人はベランダに出て外気浴で気分転換している。行事や買い物、喫茶店など外出の機会が多い。冬は大型店舗や工場見学などで外出気分を味わっている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	繁華街に近いため外に出る1階の玄関は防犯のためオートロックになっているが、2,3階の各ユニットの出入りは自由にできる。外出の気配があれば声をかけ、時には一緒について出て、安全を確保している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>災害対策の詳細なマニュアルができている。年2回、昼および夜間想定での訓練を行っており、内1回夜間想定の時、消防署が参加協力している。運営推進会議で地域との協力体制について話し合われており、訓練には町内会役員も参加している。</p>		<p>町内会も参加した緊急連絡網の整備が町内会との話し合いで進められているとの事なので、その実現を期待したい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事と水分の摂取量は各人について記録されており、不足する場合は取りやすい形を工夫して進めるなど必要な補給措置を取っている。献立の栄養バランスは、法人の管理栄養士によるチェックを受けている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>フロア全体が非常に清潔で、大きな窓で採光も良く、トイレ、浴室、洗面所などいずれも不快な環境要因は全くない。畳敷きの小上がりにはコタツがしつらえられており、暖かそうな雰囲気が演出されている。季節感のある装飾、大きな時計、日めくりなど見当識の刺激にも十分配慮されている。テレビの前のソファもたっぷりしたスペースが取られている。リビングに設置してある運動機も好評である。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅で愛用していたらしいタンスや椅子、机、鏡台などが部屋によく馴染み、タンスの上や壁面にあふれそうなほどの人形や装飾品が明るく賑やかな雰囲気を作り出している。ミシンの載った作業机や仏壇などもそれぞれの利用者にふさわしい居心地のよい生活空間が感じられる。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。